

令和 7 年度第 3 回丸亀市地域公共交通活性化協議会 会議録	
日 時	令和 7 年 12 月 24 日（水）14 時 00 分～16 時 00 分
出席者	<p>（委員）</p> <p>宮崎耕輔、池内丈史、上野博史、山下周市（代）宮本重利、森田美千代、上野智弘、近藤敬一、平井明（代）丸本紀弘、宮脇隆、藤田秀光、眞鍋雅彦、秋山ともえ、増田美樹、大西裕子、片庭浩輔、丸山憲一（代）國方崇志、合田十三夫、岡洋樹（代）成澤啓汰、伊藤秀俊、松江康司</p> <p>（事務局）</p> <p>塊場（都市計画課長）、志村（都市計画課副課長）、大関（都市計画課計画担当長）、眞鍋（都市計画課）、川本（株式会社バイタルリード）</p>
欠席者	馬場久美子、徳井正文、岩崎晶典、田村梨奈、宮川智行
傍聴者	0 名
議 題	<p>第 1 号 丸亀市地域公共交通計画改定事業について</p> <p>第 2 号 地域公共交通確保維持改善事業 令和 7 年度事業評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画改定事業</li> <li>・地域内フィーダー系統確保維持事業</li> </ul>
発 言 要 旨	
事務局（塊場）	<p>《開会》</p> <p>《あいさつ》</p> <p>本日の委員の出席は 20 名で、委員 25 名の半数以上の出席となっておりますので、丸亀市地域公共交通活性化協議会規約第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>また、本会議は原則公開し、傍聴することも可能となっています。会議終了後には会議録を作成し、市のホームページにて公表いたします。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、宮崎会長にお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>議案第 1 号「丸亀市地域公共交通計画改定事業について」、事務局より説明をお願いします。</p> <p>《説明》</p> <p>ただいまの説明について何かご質問はございませんか。</p> <p>資料 1 として改訂のポイントを作成頂いているが、KPI の現改比較も資料 1 に追</p>
会長	
事務局（塊場）	
会長	
事務局（大関）	
会長	
宮脇委員	

事務局（大関）	<p>加をしていただけると分かりやすいと思います。</p> <p>計画書 P35 からの KPI と現計画の評価指標の対応を教えてください。</p> <p>また、KPI の現状値は何年度の数値を示しているかを明記していただきたいです。</p> <p>目標値を現状維持とする場合には慎重に検討していただければと思います。</p>
会長	<p>今回設定した KPI⑤～⑧が現計画の評価指標と対応しています。</p> <p>KPI の現状値年度は P35 からの表中に現状（2024 年度）として記載しております。</p> <p>目標値は、人口減少や財政支出額などの状況を踏まえて現状維持としている部分もありますが、人口カバー率や運転手の充足率などの改善を目指していく部分は明確に数値を設定しております。</p>
宮脇委員	<p>今回の KPI には公共交通の取組みだけで簡単に改善する数値以外も含まれています。例えば、免許返納は高齢者の外出が減り、運転機会も減ったから返納するという声もお聞きしています。目標値の達成・未達成で評価するだけではなく、社会情勢も加味しながら改善策を議論していくための指標だにご理解いただければと思います。</p> <p>また、定期的に数値を確認する必要もあるため、把握が可能かという点も勘案して、評価可能指標を設定している項目もあります。KPI の設定が適正かという点についても、この場でご意見をいただきたいと思います。</p>
片庭委員	<p>P36 の高齢者の免許返納率について 65 歳以上としています。県内の免許返納者で言いますと概ね 80 歳以上の方と伺っています。地域の実態に即したものにすることが市民の方も分かりやすいと思います。</p>
池内委員	<p>計画については、アップデートガイダンスに沿った形で作成いただいております。従前よりもわかりやすくなっていると思います。ガイダンスには KPI の例を挙げていますが、指標の数値設定方法まで厳密に定めるものではなく、地域の実態に沿った設定にしていくべきだと思っております。</p> <p>例えば、KPI⑦のバスの収支改善率については現計画の改善実績を踏まえて、もう少し踏み込んだ数値目標にするなどの意欲的な目標設定になれば良いかと思います。計画の大枠は作成頂いたものを基本としつつも、数値設定などをご検討いただければと思います。</p>

	<p>が不足しているのが実情となっています。目標値の 100% に近づけたいとは思いますが、運転手確保は厳しい現状であり、採用活動等へのお力添えを頂きたい点をご理解頂きたいと思います。</p>
事務局（大関）	<p>今回のアンケートについては、市民約 3,300 世帯へ配布し、回収率は約 40% の実績となっています。5 年後にも同様の調査方法・規模として、条件は揃えて評価することを考えています。</p> <p>表 3 の現計画評価は、現時点での最新確定値として 2024 年実績を記載しています。</p>
会長	<p>充足率については仕業数によっても変わる数値となります。目標値設定については交通事業者と事務局の間で再度確認いただければと思います。</p>
片庭委員	<p>P24 からの施策と事業の実施主体はもう少し具体的に記載いただければと思います。スケジュールについても施策によっては、より詳細に区切って表記をして頂ければ実行性も高まると思います。</p> <p>施策 3 の交通空白地域の縮小について、計画中でも交通空白地域を明記していただければと思います。また国の方針として 2027 年度までを交通空白解消集中対策期間としていますので、それまでに取組みを開始するスケジュールとして頂きたいです。</p>
会長	<p>計画では利用者視点での利便性向上を重視した記載となっていますが、供給者側の担い手不足の問題点もあります。担い手が確保できないと利便性向上もできないという相互依存的な構造の問題となっていますので、そのような点も踏まえて委員の皆様からも是非ご意見を頂きたいと思います。</p>
増田委員	<p>75 歳以上の運賃無料デーが行われていますが、要支援や要介護認定者への運賃無料デーの拡大特例はあるのでしょうか。</p>
事務局（大関）	<p>コミュニティバスでは障害者手帳をお持ちの方への半額利用は設定されていますが、福祉部局の取組みの部分もありますので申し訳ありませんが、この場での回答はできかねます。</p>
会長	<p>交通施策と福祉施策と所掌が分かれている部分もありますので、その点をご理解いただければと思います。</p>
大西委員	<p>アメリカで無人タクシーが震災時に機能停止して、交通が混乱したという報道を知り、気になっています。</p>

会長	<p>自動運転の話も含めて公共交通全体としてリダンダンシー機能を持たせる必要もあると思います。</p> <p>P20 の将来ネットワークについて、丸亀市は広大な平野部のため自動車依存が高い傾向があります。1 時間に 1 本程度の運行頻度を維持することも利用者確保には必要ですが、将来ネットワークの具体化にあたっては、委員の皆様からの意見も必要です。</p>
宮脇委員	<p>宇多津町・三豊市・善通寺市などとの広域なコミュニティバスマップ、時刻表の作成などではできるものでしょうか。それが出来ればネットワークとしてのつながりが強くなると思います。</p>
成澤委員	<p>香川県としても公共交通計画を策定しており、その中でも方針を示していますが、広域移動については基本的には鉄道が中心だと考えております。ただし、ご意見のあったコミュニティバスの接続については方策の一つとして考えていきたいと思っています。</p>
会長	<p>最近だと Google map などのネット検索も利用出来ます。香川県内でも、外国人の方がネット検索を利用して公共交通を使われているのが現状です。</p>
秋山委員	<p>KPI⑩について、バスを利用しない市民の回答を除くとしていますが、それは問題ないでしょうか。また、運転手確保については運転手の賃金上昇への補助などもあれば必然的に運転手確保につながると思います。</p>
事務局（大関）	<p>年 1 回以上の利用者を対象としており、満足度の把握は問題ないと考えています。</p>
会長	<p>利用しない方はイメージで回答される面もあるため、回答結果については注意が必要かと思います。運転手の賃上げについては検討しないといけない点だと思います。</p> <p>他にご意見もないようですので、次に移ります。</p> <p>議案第 2 号「地域公共交通確保維持改善事業 令和 7 年度事業評価について」、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（真鍋）	<p>《説明》</p>
会長	<p>本島コミュニティバスの評価⑤で C 判定がありますが、増便によってどれだけ利用されているかを確認した上で、結果を加味して B 判定としても良いと思います。</p>

事務局（大関）	頂いた意見をもとに、増便の利用状況を確認してB判定とする可能性がある点をご承知いただければと思います
会長	その他、全体を通してなにかありますでしょうか。
事務局（大関）	議題1の今後のスケジュールですが、本日の議論内容についての修正対応を行い、年明けに庁内会議への付議、1月から2月でパブリックコメントを踏まえて、成案としての取りまとめを行います。3月末には市のホームページにて公開する予定としています。
会長	その他は特にないようですので、進行を事務局へ戻します。
事務局（埴場）	《閉会》